

嚥下障害のある患者の経口食選択について

嚥下機能が低下した方に適する食事を選ぶ際の参考に「嚥下調整食 学会分類2013」に適應する「当院の嚥下食」を併記しました。まずはスクリーニングを実施しましょう！

日本摂食嚥下リハビリテーション学会
嚥下調整食分類2013(学会分類2013)
【学会分類コード】

当院の嚥下食

【学会分類コード】

嚥下訓練食品 【0j】
たんぱく質含有量が少ないゼリー



嚥下訓練食品 【0t】
たんぱく質含有量が少ない
学会分類2013(とろみ)
の中間～濃いとろみ



嚥下訓練食品 【1j】
たんぱく質含有量は問わない
プリン・ゼリー・ムース等



開始食 【0j】
嚥下開始用市販ゼリー

トロミ水 【0t】
とろみ剤＋飲料
トロメリン添加量
1.5～2.2%

半固形食 【1j】
ペースト、ゼリー
ムース状

嚥下調整食 【2-1】
均質でなめらか
粒がなく付着性の低いもの



嚥下調整食 【2-2】
軟らかい粒等を含む不均質なもの

嚥下調整食 【3】
形はあるが歯や義歯がなくても口腔内で押しつぶし食塊形成が容易なもの



ピューレ食 【2-2】
主食：全粥ピューレ
副食：半固形又はポタージュ状
(トロメリン0.5～1%)
にとろみ付加

嚥下調整食 【4】
形があり、かたすぎず、ばらけにくく、貼りつきにくいもの

移行食 【3～4】
主食：全粥
副食：糜粥菜にてとろみ付加

食事の形態や量などで迷った時は病棟担当栄養士へご相談ください